

新技術等 申請資料 (3 / 5)

新技術等名称	浅層噴砂抑制工法 (ジオダブルサンド工法)	登録No. A-14087
--------	-----------------------	---------------

(施工上・使用上の留意点)

①設計時 防水シートは構造上凹凸の噛み合わせであり直線、直角方向に敷設する。その為カーブ施工やロス分に留意する。 ②施工時 防水シートの凹凸は等間隔 (35mm) になっており、誤差のないよう確実にゴムハンマー等で叩く。透水管周りの埋め戻しは経年の目詰まりを考慮し、川砂か細かい砕石等がよい。  
 ③維持管理等 ④その他  
 特になし。 防水シートの接着面は水分があると付着しなくなるので、施工中の雨天に留意する。

(残された課題と今後の開発計画)

①今後の課題  
 ・宅地への効果の確認。  
 ②開発計画  
 ・新連携での遠心載荷試験にて計画中。

(実験等作業状況)

・ジオダブルサンド工法の液状化特性模型実験 (遠心載荷試験) を3・11の浦安市で発生した地震と同じ条件を想定 (震度7, マグニチュード9) し、対策有、無対策で各々5回、1回につき6度づつ地震を発生させた。結果、実験資料に添付しておりますが対策有では6度目迄クラックなし、無対策では3秒程度で舗装が破壊、液状化が発生した。

(添付資料)

実験資料等

・ジオダブルサンド工法の液状化特性模型実験 (工法実証実験) 計画書  
 ・ジオダブルサンド工法の液状化特性模型実験報告書 (データ)  
 ・ジオダブルサンド工法の液状化特性模型実験の結果と評価 (日本大学工学部土木工学科地盤防災研究室 仙頭紀明准教授 編集)

積算資料等

・NETIS及びホームページに公開。 NETIS登録番号TH-140007-A  
<http://www.akaneya-sa.jp>

施工管理基準資料等

・防水シートの重ね合わせは180mm。

その他

・道路土工要綱 ・道路構造令 ・液状化対策工法 (地盤工学会) ・砂地盤の液状化  
 ・土木技術全書

特 許	□1. 有り (番号: ) ■2. 出願中 □3. 出願予定 □4: 無し	番号	2
		特許番号	特願-2011-221161
実用新案	□1. 有り (番号: ) □2. 出願中 □3. 出願予定 □4: 無し	番号	
		新案番号	
その他の 制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号	
	証明年月日	証明年月日	
	証明機関	証明機関	
	証明範囲	証明範囲	